



名取川水系大倉川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

索引図



位置図



凡 例

—— 市町界

■ 実施区間

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 20m以上
- 10.0 ~ 20.0m未満
- 5.0 ~ 10.0m未満
- 3.0 ~ 5.0m未満
- 0.5 ~ 3.0m未満
- 0.5m未満

1. 説明文

- (1) この図は、名取川水系大倉川の下記の区域について、水防法の規定により指定された想定される最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図である。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の大倉川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により大倉川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものである。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域等に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項

- (1) 作成主体 宮城県
- (2) 指定年月日 令和7年5月30日
- (3) 告示番号 宮城県告示第356号
- (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条 第2項
- (5) 対象となる河川 名取川水系大倉川（実施区域）
左岸 東風沢の合流点から大倉ダム上流まで
右岸 大倉ダム下流から広瀬川合流点まで
- (6) 指定の前提となる降雨 名取川水系大倉川 大倉川流域の1時間雨量79.1mm
- (7) 関係市町村 仙台市

S=20,000
500 0 500 1000 1500m
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6 JhA 969を加工